

細見美術館

てんが

典雅なる御装束

おんしょうぞく

京都国立博物館所蔵 ― 宮廷のオートクチュール ―

平成23年

10月1日〔土〕

― 11月27日〔日〕

五衣・唐衣・裳装束(部分)

Graceful Appearances

Kyoto National Museum Collection

Haute Couture of the Japanese Court

主催＝細見美術館 京都新聞社 特別協力＝京都国立博物館 協力＝  HOSOO KYOTO

後援＝第26回国民文化祭京都府実行委員会

休館日＝毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日) 開館時間＝午前10時～午後6時(入館は、午後5時30分まで)

会場＝細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>



五衣・唐衣・装束束
秩父宮雍仁親王所用

盛儀の衣裳

裳 縹裾濃 松竹梅尾長鳥模様
秩父宮雍仁親王所用



宮中の儀式に用いられる様々な装束は、千年以上もの歴史に培われた有職の伝統に則り、技術と美意識の粋を集めて調整されるものです。国内において最も格式の高い服飾儀礼を象徴し、近代には海外の文化をも摂取して、独自のスタイルを築きあげてきました。

本展では、京都国立博物館ご所蔵の有栖川宮家・秩父宮家の御装束をはじめとする公家服飾の数々を「盛儀の衣裳」・「宮廷装束のさまざま」・「若君・姫君の世界」の3つの章に分けて展観します。束帯・十二単といった宮廷装束の正装から、普段目にする機会の少ない正装以外の宮廷装束や公家の子供の衣服などを通して、宮廷文化の一端をご紹介します。

振袖 紅地 藤花飛鶴文様



若君・姫君の衣裳



御所人形 被布立姿



被布 黒ビロロ地 三菊紋



小直衣 麴塵地 三菊紋
有栖川宮熾仁親王所用

浅沓
秩父宮雍仁親王所用

てんが
典雅なる御装束
おんしょうぞく
京都国立博物館所蔵 — 宮廷のオートクチュール —



平成23年
10月1日[土] — 11月27日[日]
※会期中、展示替があります。
詳しくはお問合せください。

宮廷衣裳のさまざま

お問合せ先：広報担当 三宅 由紀

Tel / 075-752-5555 Fax / 075-752-5955 E-mail / kouhou@emuseum.or.jp

細見美術館